

# 近年のインバウンド増加がもたらす 経済・地方へのインパクト

---

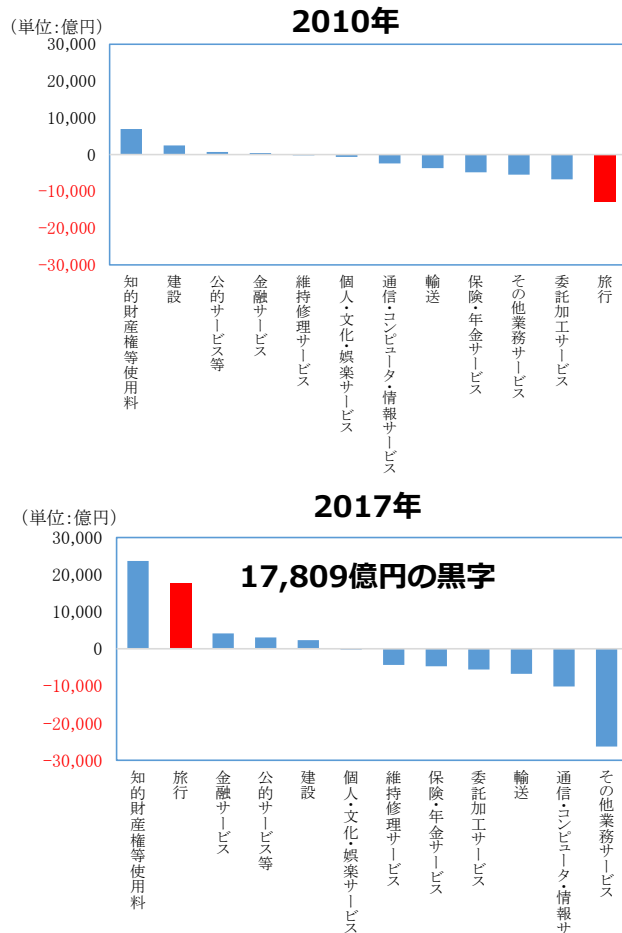
平成30年4月18日  
観光庁

# 経済成長への「観光」の貢献

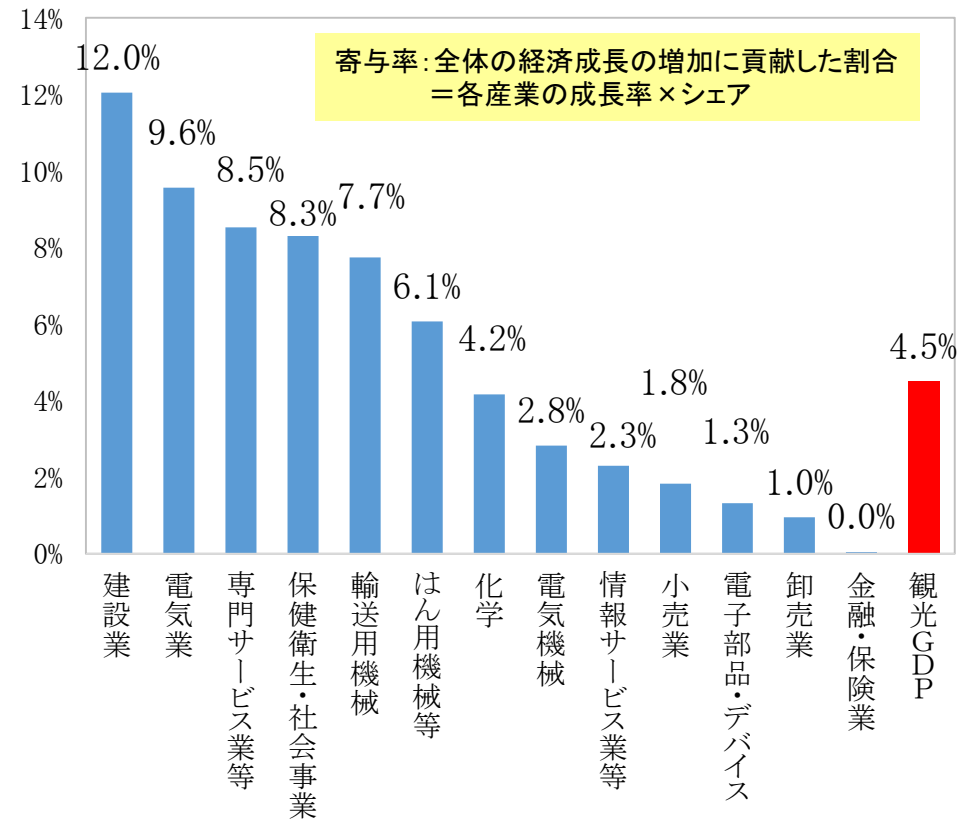
・かつて、サービス収支の最大の赤字項目であった「旅行」が、2017年には**知財使用料に次ぐ黒字項目**となるなど、「稼ぎ手」に変化しつつある。

・名目GDP約40兆円増加(2012年から2016年)のうち、観光の寄与の割合は**4.5%程度(約2兆円)**  
 ・この間、**観光GDPは23.0%成長**し、その伸び率は輸送用機械(23.0%)等とともにトップクラス。

## <サービス収支の変化>



## <名目GDP成長率への寄与の割合> (2012年から2016年の名目経済成長への寄与率)



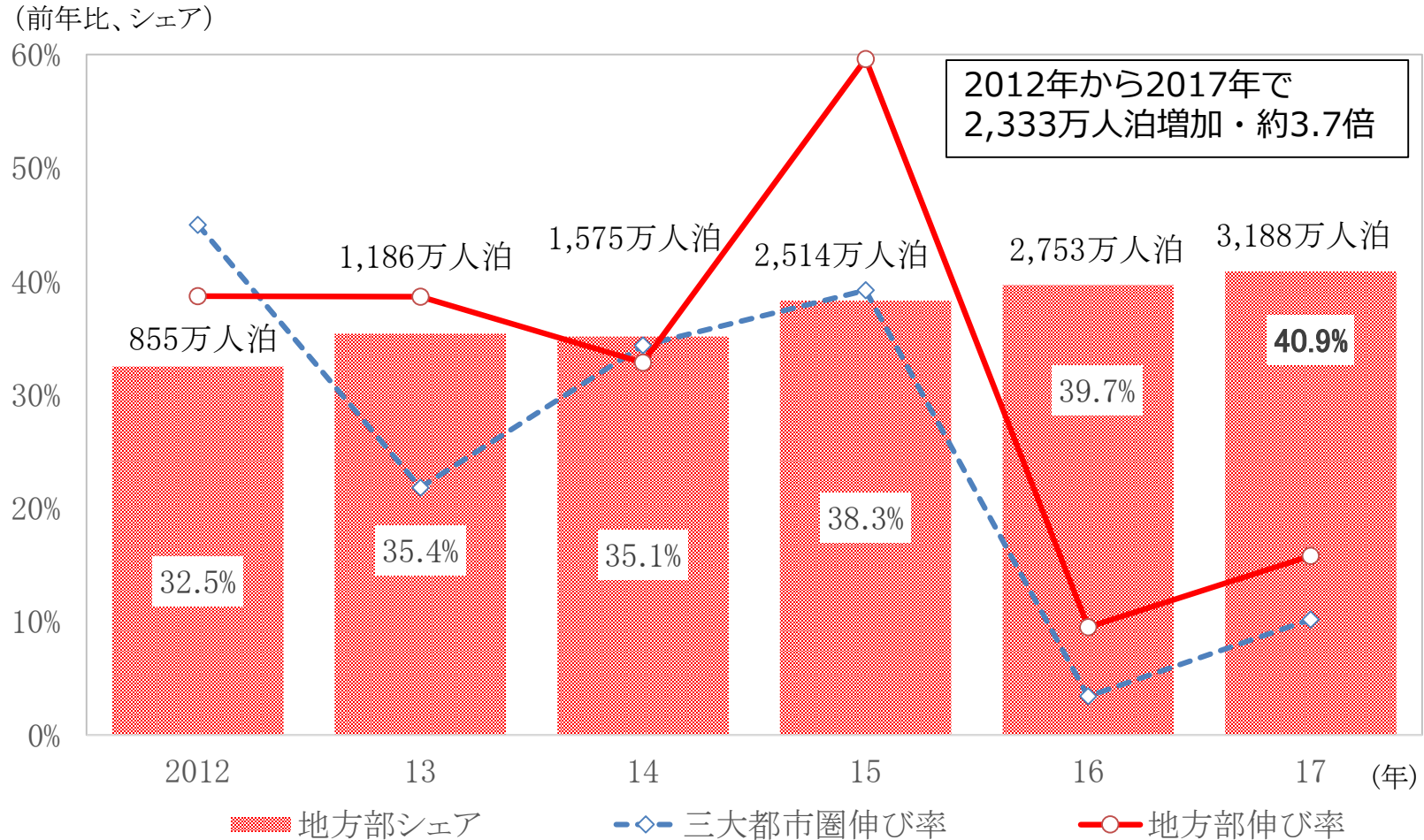
(資料) 財務省、日本銀行「国際収支統計」に基づき観光庁作成

(資料) 内閣府「国民経済計算」等に基づき観光庁作成

# 地方への波及1（人の流れ）

・地方部の外国人延べ宿泊者数が三大都市圏を上回るペースで増加しており、2017年にはシェアが初めて4割を突破した。

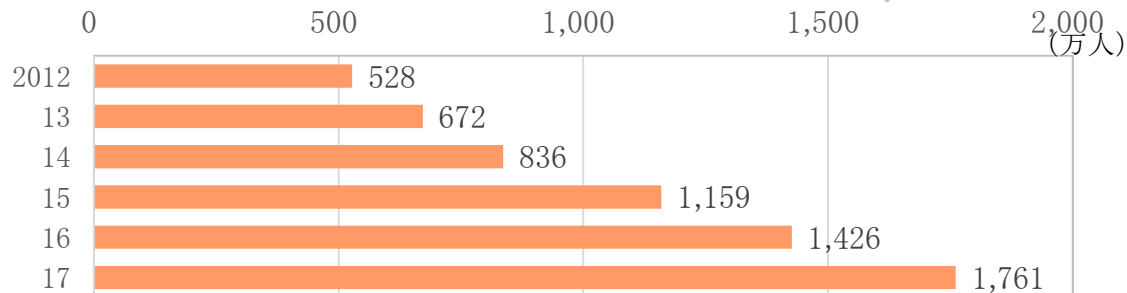
＜地方部の外国人延べ宿泊者数の推移＞



# 地方への波及1 (人の流れ②リピーター)

## (1) 訪日リピーター数の推移

～リピーター数は近年大きく増加し、**1,700万人**を突破～



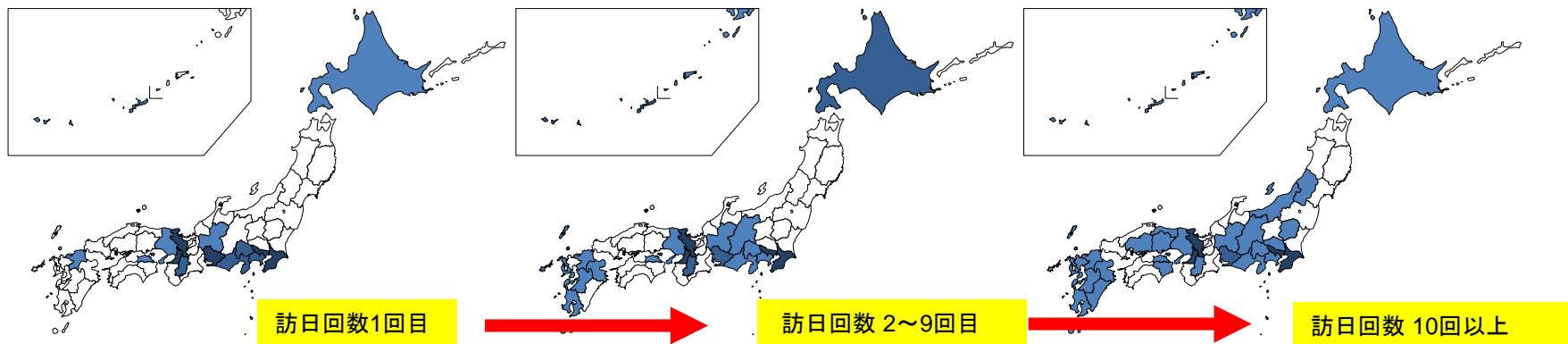
(年)

※JNTO「訪日外客数」に「訪日外国人消費動向調査」のリピーター率を乗じて算出した推計値

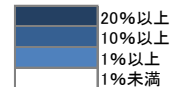
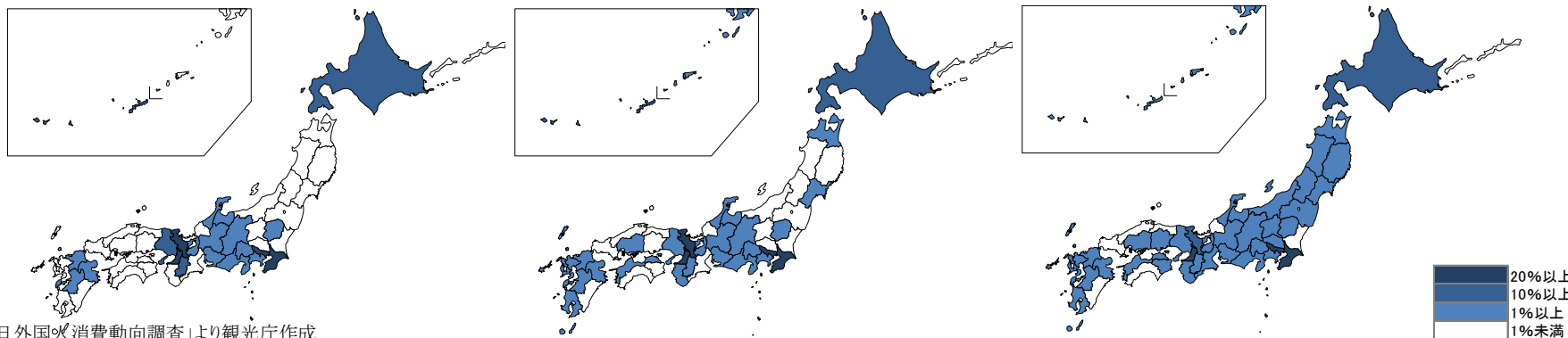
## (2) 訪日回数別都道府県訪問率

～リピーターほど地方に訪れる割合が高くなる傾向～

【中国】



【台湾】

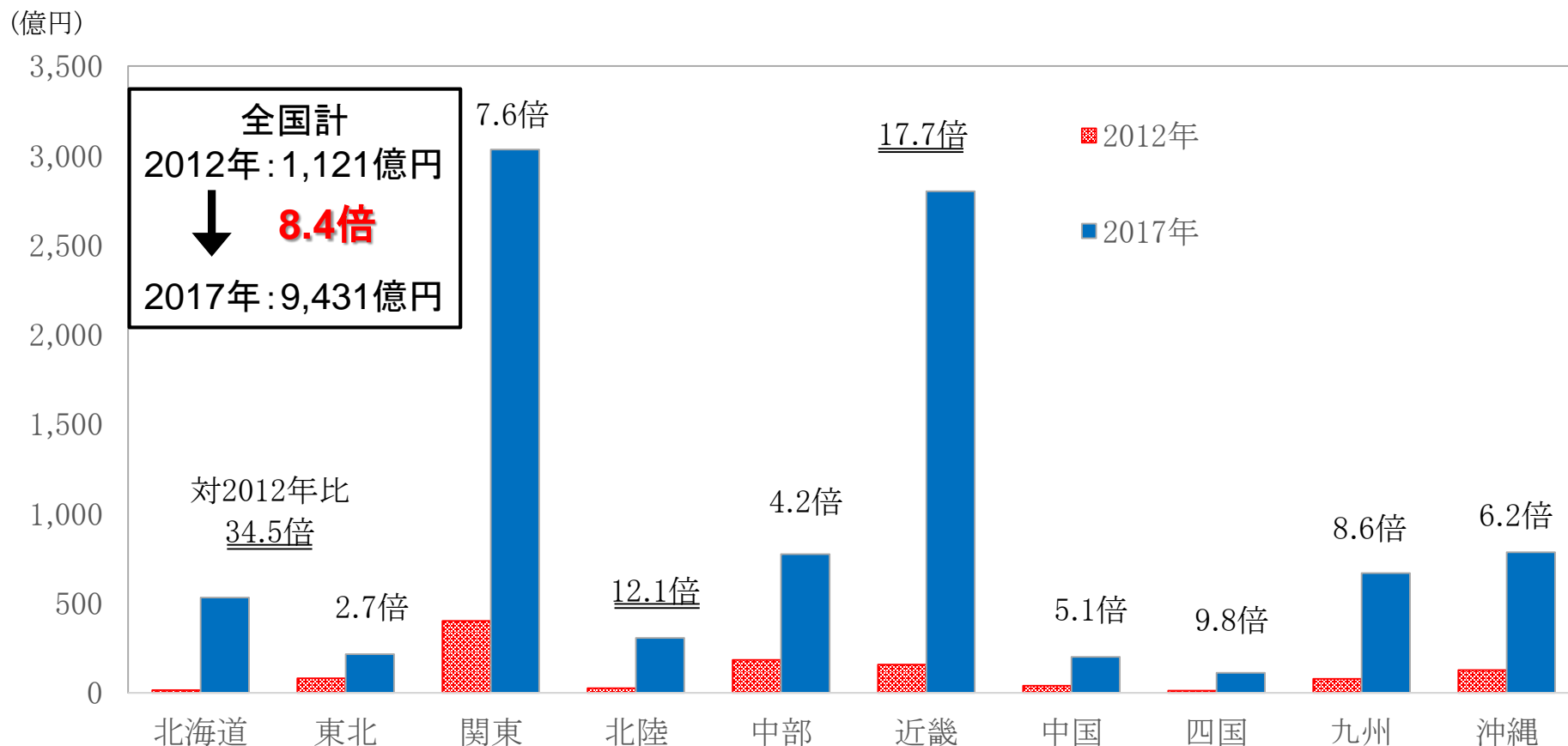


(資料) 観光庁「訪日外国人消費動向調査」より観光庁作成

# 地方への波及2（投資）

- ・宿泊業の建築物工事予定額は、5年で**8.4倍**
- ・ブロック別にみると、絶対額は関東、近畿が大きいが、伸び率では北海道、近畿、北陸が高い。

＜ブロック別宿泊業の建築物工事予定額の変化＞  
(2017年/2012年)



(資料)国土交通省「建築着工統計に基づき観光庁作成

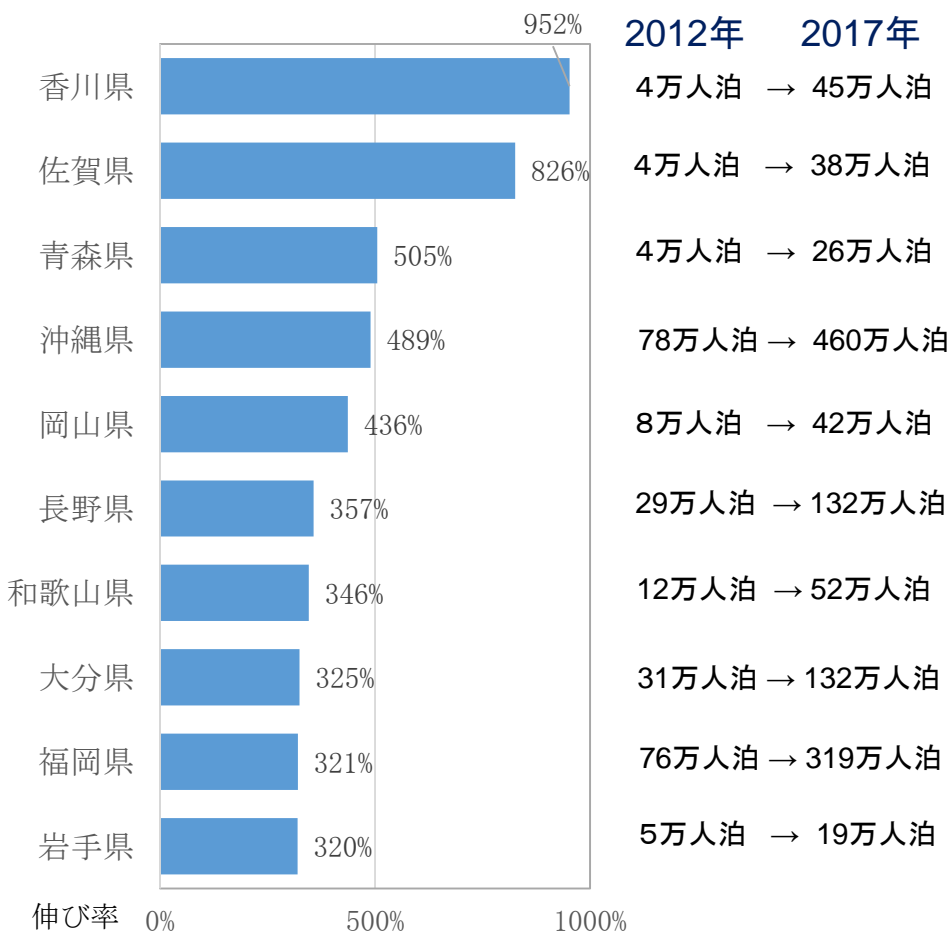
# 地方への波及3（人の流れと投資の関係）

・外国人延べ宿泊者数の伸び率をみると、上位は、香川県、佐賀県、青森県、沖縄県、岡山県とすべて地方部であり、インバウンドの地方への展開が進んでいる。

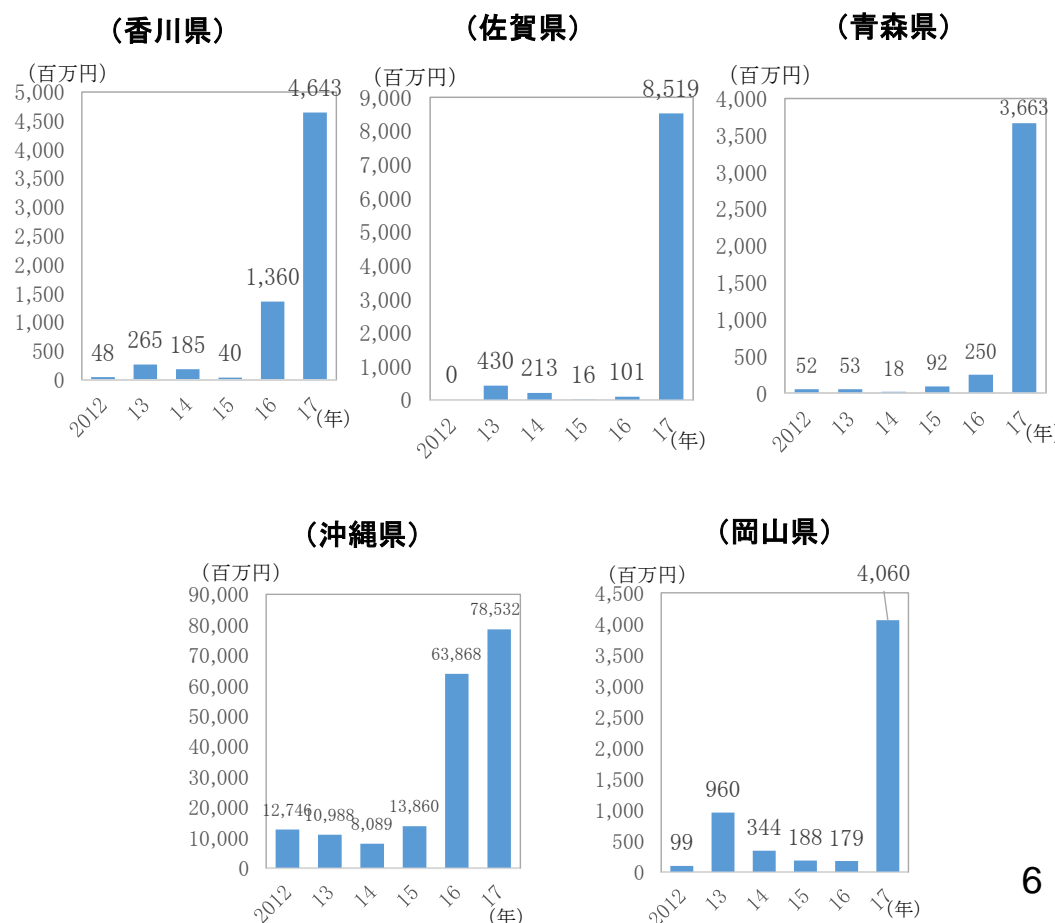
・インバウンドの伸びが著しい地方部では、これに対応した宿泊業の建設投資が大幅に増加

＜2012年から2017年の外国人延べ宿泊者数の変化＞

＜外国人延べ宿泊者数伸び率上位5県における宿泊業の建築物工事予定額の動向＞



(資料)観光庁「宿泊旅行統計調査」



(資料)国土交通省「建築着工統計に基づき観光庁作成